

事業者名	一般社団法人 日本森林技術協会
本社所在地	東京都千代田区六番町7番地
業種	専門・技術サービス業（森林・環境コンサルタント）
事業概要	日本森林技術協会は、「森林から、人と社会の未来図を描く。」をテーマに、森林・林業、自然環境の調査・コンサルティングや、森林技術の普及による人材育成等を行っています。
事業活動エリア	全国、海外
企業URL	https://www.iafta.or.jp/contents/home/
地方公共団体との マッチングを望む 分野	高 ← 優先度 → 低 1 森林管理・活用・生物多様性 4 資源循環 2 木質バイオマス発電・熱利用 5 計画策定・改定 3 人材育成 その他 : _____
地域づくりに貢献する 「地域脱炭素」を通じて 実現したい社会像	森林には二酸化炭素の吸収をはじめ、水源涵養、生物多様性、防災、木材供給など、多面的な機能・価値があります。当協会は、「森林」を軸とした地域の脱炭素と活性化を両立する持続可能な社会の実現を目指します。100年にわたり培った森林技術とデジタル技術を活かし、自治体の伴走パートナーとして連携します。森林価値の可視化やビジョン策定、木質バイオマス熱利用の仕組み構築、そして地域を支える人材育成まで、調査・計画から実装までワンストップで支援し、自立的で活力ある地域づくりに貢献します。
地方公共団体の脱炭素の 目標や課題に対して 提供可能な ソリューション	地域の抱える課題や目標を丁寧にヒアリングし、地域に寄り添った最適なソリューションをご提案します。 ① 森林管理・生態系保全・ネイチャーポジティブの推進に係る調査・計画・ゾーニング・ビジョンづくり ICTやドローン、GIS (QGIS) 等の最新デジタル技術を活用し、地域の森林が有する価値を可視化・分析します。地域振興に資する森林の活用方法や行政のマンパワー不足など、自治体が直面する多様な課題に対し、林業と地域の保全・防災を両立させるゾーニング、適切な管理計画や森林ビジョンの策定、デジタル化による業務効率化をサポートします。また、生物多様性保全やネイチャーポジティブ推進に向けた調査・計画策定等を支援します。 ② 木質バイオマス熱利用による地域エネルギー循環の仕組みづくり 地域内の未利用材や林地残材を活用した小規模な木質バイオマス熱利用（地域内エコシステム）の導入に向けて、地域協議会を支援します。林野庁事業における55地域（市町村）への支援実績から得た豊富な知見を活かし、エネルギーと経済が域内で循環する地域活性化の仕組みを構築します。 ③ 多様なステークホルダーとの合意形成・地域を支える人材育成の支援 地域住民、林業事業者、学識者等との対話や合意形成のための地域協議会の運営をサポート。ワークショップや研修の運営を通じ、地域の人材育成まで支援します。  生物多様性・生態系保全  調査・モニタリング  地域共創・合意形成  林業DX・スマート林業  木材利用・資源循環  森林教育・人材育成
地方公共団体との 連携実績	●鹿児島県屋久島町（屋久島町森と人との共生ビジョンの策定支援）、長崎県西海市（企業の森づくりのビジョン構築）、秋田県大館市（スマート林業推進のための研修などの伴走支援） ●林野庁事業「地域内エコシステム」モデル構築・展開支援事業：全国55市町村を支援。 ●東京都（「多摩の森活性化プロジェクト」推進協議会の運営支援等）